

奈良県森林クラウドシステム構築業務及び運用保守業務 提案書評価表

No.	評価対象	評価項目	記載内容・判断基準	評価のポイント	項目 加重点	項目 評価点	項目 技術点
1	1.業務遂行能力	(1)類似契約実績	①過去5年間の以下の受注実績について記載すること。なお、実績は最大5件までとする。 (6件以上の実績を挙げた場合、本項目は評価しない) 【類似業務】 ・国、都道府県または市町村(これらを構成員とする団体を含む)における、林政手続の電子申請機能を有する森林GISシステムの構築・運用業務 【関連業務】 ・国、都道府県または市町村(これらを構成員とする団体を含む)における、クラウド型GISシステムの構築・運用業務 ②契約書の写しまたは契約実績が確認できる資料を添付すること。 なお、契約書の写しまたは契約実績が確認できる資料だけでは契約内容や上記の条件を満たしているかがわかりにくい場合は、仕様書の写し等、内容がわかる資料を添付すること。	・類似業務の契約件数1件につき5点。 ・関連業務の契約件数1件につき2点。 ・いずれも団体規模は問わない。 ・いずれも実績書類が不明瞭な場合は点数半減。 (小数第一位四捨五入) ・合計点が10点を超えた場合は10点。 ・6件以上の実績を提示している場合は0点。	20	10	200
2		(2)プロジェクト体制	①プロジェクトの体制について記載すること。 ②プロジェクト責任者以外に本業務を遂行する上で必要と想定される主要な人員について、当該人員の役割と人数をそれを必要とする理由と共に記載すること。 なお、当該人員の本業務への関わり方(打ち合わせへの参加や県とのやり取り等を含む)についても記載すること。 ③プロジェクト責任者及びプロジェクト責任者以外の主要な人員について、前項の類似業務または関係業務に関わる経験年数並びに保有資格を記載すること。 ④やむを得ず人員が交代する場合の基準を示すこと。合わせて交代する場合の引き継ぎの方法について記載すること。(これらがプロジェクト責任者とプロジェクト責任者以外の人員で異なる場合はそれぞれの場合について記載すること。)	・本業務を履行できる体制・実績を具体的に提案できているか。 ・プロジェクト責任者以外の人員について、役割の必要性と人数が妥当か。 ・プロジェクト責任者及びプロジェクト責任者以外の人員の経験及び資格は充分か。 (想定資格：仕様書1.9技術者要件に示すもの) ・人員交代時の基準と手順が妥当か。	10	10	100
3		(3)スケジュール	①想定する業務内容とそれに対応する人員及びスケジュールについて、仕様書の各項目の推移が分かる形で記載すること。 ②構築業務の成果品を提出するまでに実施が必要な作業とそれぞれの実施時期及び期間を示すこと。	・想定している業務内容とそれに対応する人員及びスケジュールが妥当かつ必要性があるものであるか。 ・スケジュールの実現性について客観的に示されているか。 ・成果品納品の期限までに行う上で実現性のあるスケジュールか。 ・業務内容の想定が具体的かつ過不足がないと考えられるか。	10	10	100
4		(4)役割分担	①想定する業務内容の県と受託者の役割分担について記載すること。 ②想定する県側の工数を示すこと。 ③県側の作業負担を軽減するための取り組みについて記載すること。	・役割分担内容が明確かつ詳細に示されているか。 ・役割分担内容が適切か。 ・県側の作業工数が根拠に基づいて示されているか。 ・県側の作業負担軽減のための工夫を行っているか。	5	10	50
5		(5)プロジェクト管理	①県と受託者間で課題や進捗を管理する方法について記載すること。 ②想定する県と受託者の打ち合わせ内容、方法及び回数について記載すること。 なお、時期や進捗状況等によってこれらが異なる場合の対応についても示すこと。 ③プロジェクトの品質管理の基準を示すこと。	・課題や進捗の管理方法が県に配慮したものであるか。 ・業務を進める上で打ち合わせの内容や時期が考慮した打ち合わせ方法となっているか。 ・県への進捗報告を適切なタイミングで行う想定となっているか。 ・プロジェクトの品質を維持するための具体的な基準が示されているか。	5	10	50
1.業務遂行能力 に対する提案					500		
6	2.機能要件の実現性	(1)システム概要	①提案するシステムについて、システム全体の全体図、仕様書で示している各機能の構成・対応する実現案がわかるように図表等を用いて記載すること。 ②各種機能における個人情報の取り扱い方法について、具体的に記載すること。 ③一般ユーザー(クラウド加入者以外)の電子申請について、記載すること。 ④各システムの責任の所在を記載すること。	・システム全体図が要件を満たす形で記載されているか。 ・個人情報の取り扱い方法に問題はないか。 ・一般ユーザー(クラウド加入者以外)の電子申請も受け付けられる機能になっているか。 ・受付が難しい場合、運用面でも対応できるものであるか。 ・責任の所在が明確であり、妥当な内容となっているか。	20	10	200
7		(2)ログイン制御機能	①提案書別紙「機能対応表」に記載すること。	・各機能の実現性や実現方法は高いか。 ・システムで実現できる部分が多いか。 ・運用の工夫やカスタマイズが必要な部分を具体的に示しているか。 ・追加提案については、相対的に評価する。	10	10	100
8		(3)基本機能及び地図操作機能			10	10	100
9		(4)森林簿・森林計画図管理機能			10	10	100
10		(5)森林異動情報管理機能			10	10	100
11		(6)林地台帳管理機能			10	10	100
12		(7)伐採及び伐採後の造林の届出等管理機能			10	10	100
13		(8)市町村森林整備計画管理機能			10	10	100
14		(9)施業履歴管理機能			10	10	100
15		(10)森林の土地の所有者届出管理機能			10	10	100
16		(11)森林経営計画作成・管理機能			10	10	100
17		(12)造林補助事業管理機能			10	10	100
18		(13)特定間伐等促進計画管理機能			10	10	100
19		(14)管理者機能			10	10	100
20		(15)帳票機能			5	10	50
2.機能要件の実現性 に対する提案					1,550		

奈良県森林クラウドシステム構築業務及び運用保守業務 提案書評価表

No.	評価対象	評価項目	記載内容・判断基準	評価のポイント	項目加重点	項目評価点	項目技術点	
21	3.非機能要件の実現性	(1)システム環境	①利用者環境について、以下のクライアント環境において、正常に表示・最適化され、動作可能か、その実現可否について記載すること。なお、バージョンは提案時点での最新版での正常動作を保証すること。 【対応OS】 Microsoft Windows10以降, Android10.0以降, iOS 16.0以降 【ブラウザ】 Microsoft Edge Chromium版, Google Chromeにおける標準ブラウザ 【オフィスアプリケーション】 Microsoft Office2019 以降 ②仕様書に示す「7.2機器及びソフトウェア」の構成がわかるように図表等を用いて記載すること。 なお、インターネット回線側で個人情報を含む情報資産等を扱う場合、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」の認証を取得したクラウドサービスに配置していることがわかるように記載するとともに、提案時点での認証取得状況がわかる根拠資料を合わせて提出すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な事項が含まれているか。 ・各要件の実現性や実現方法は高いか。 ・追加提案については、相対的に評価する。 	5	10	50	
22		(2)拡張性	①仕様書に示す「7.3.3拡張性」の実現方法等について記載すること。 ②仕様書に示す「7.3.9外部システム接続・連携機能」の実現方法等について記載すること。		5	10	50	
23		(3)継続性 (可用性)	①データ保全に係る要件として、仕様書に示す「6.1.3(カ)冗長化性能」の実現方法等について記載すること。特にバックアップ方法について、具体的な仕組み、運用方法等について記載すること。 ②障害発生時の対応に係る要件として、仕様書に示す「6.2.6障害時の対応方法」及び「7.2.3障害対応」の実現方法等について記載すること。特にサービス平均稼働率の維持のためのシステム障害時対策も含めて記載すること。		10	10	100	
24		(4)セキュリティ	①仕様書に示す「8.2.4セキュリティ対策」の実現方法等について記載すること。 また、不正利用及び情報漏洩時における対応方法についても記載すること。		10	10	100	
3.非機能要件の実現性 に対する提案					300			
25	4.運用保守	(1)運用保守要件 (SLO)	①仕様書に示す「8.3SLO(サービス品質目標)の運用」について、運用保守実施にあたって、サービスレベル維持・向上を目的として、サービスレベル（SLO）（案）を提案すること。 ②サービスレベルが達成できなかった場合の対応方法について記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・運用保守実施にあたって、妥当性のあるサービスレベル（案）が提案されているか。 ・SLOの測定方法が妥当かつ具体的に示されているか。 ・サービス稼働率はどれくらいか。 ・障害復旧時間はどれくらいか。 ・その他県にとって、有利な内容となっているか。 	15	10	150	
26		(2)運営サポート	①仕様書に示す「9.3システム運用支援」について、運用・研修・ヘルプデスクの実施方法を具体的に記載すること。		<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の要求事項が満たされているか。 ・安定稼働に向けた迅速な対応及び報告を実施するための具体的な方法等が具体的に提案されているか。 	15	10	150
27		(3)改善保守	①仕様書に示す「9.2システム改善保守」及び「11.1法改正等に伴う仕様変更」について、システムの改善等が必要になった場合の対応方法について記載すること。		<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の要求事項が満たされているか。 ・改善対応方法の具体的な内容が提案されているか。 	10	10	100
28		(4)次期調達支援	①今回調達するシステムから次期システム又はそれに相当するサービスへと移行する際の移行支援内容を記載すること。		<ul style="list-style-type: none"> ・県にとって有益な提案かどうか。 ・具体的に移行方法について言及されているか。 	10	10	100
4.運用保守 に対する提案					500			
29	5.プレゼンテーション	(1)プレゼンテーション・デモンストレーション	①上記提案に係る補足説明及びシステムの内容・操作イメージについて、プレゼンテーション・デモンストレーションを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・要求に対するデモの内容が妥当か。 ・求めている機能にフィットしているか。 ・使い勝手が良いか。 ・今後の運用に応じて柔軟に対応(システム変更含む)できそうか。 ・機能があるだけで、使い物にならないものではないか。 	15	10	150	
5.プレゼンテーション に対する提案					150			
機能評価点 合計					3,000			